

Cisco VPN Client 多重脆弱点

severity	アドバイザーID : cisco-sa-20020812-vpnclient-vulnerability	CVE-2002-0853
	初公開日 : 2002-08-12 15:00	
	バージョン 1.0 : Final	CVE-2002-2222
	回避策 : Yes	
	Cisco バグ ID :	CVE-2002-2223
		CVE-2002-0852
		CVE-2002-2224
		CVE-2002-2225
		CVE-2003-1320

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

概要

Cisco Virtual Private Network (VPN; 仮想私設ネットワーク) Client ソフトウェアにはさまざまな脆弱性があります。これらの脆弱性の不正利用は Cisco VPN Clientソフトウェア プログラムが正しく機能することを防ぎます。

これらの脆弱性は Cisco バグ ID CSCdy26045 として文書化されています。これらの脆弱性の影響を軽減するための回避策はありません。

このアドバイザーは <http://tools.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20020812-vpnclient-vulnerability> で掲示されます。

該当製品

修正済みソフトウェア

VPN Client ソフトウェア プログラムは次のプラットフォームで動作します:

- Microsoft Windows ベース の パソコン。
- Red Hat バージョン 6.2 Linux (Intel) または互換ディストリビューション (カーネル バージョン 2.2.12 以降を使用)。カーネル バージョン 2.5 はサポートされていません。
- 32ビット カーネル OS バージョン 2.6 または それ 以降を実行する Solaris UltraSPARC。
- Mac OS X バージョン 10.1.0 以降。 .

すべての VPN Client ソフトウェア プログラムは、すべてのプラットフォームのバージョン 3.5.4 よりバージョン 3.6 および それ 以前より先に、この脆弱性から影響を受けます。これには前の Cisco Secure VPN Client および Cisco VPN 3000 Client ソフトウェア プログラムが含まれています。

脆弱性を含んでいないことが確認された製品

Cisco VPN 5000 Client ソフトウェア プログラムはこの脆弱性から影響を受けません。

他のシスコ製品においてこのアドバイザリの影響を受けるものは、現在確認されていません。

改訂履歴

リビジョン 1.0	2000-August-12	初回公開リリース
--------------	----------------	----------

利用規約

本アドバイザリは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。本アドバイザリの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。

本アドバイザリの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意識を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。